

2019年度 日本看護技術学会 第18回会員総会議事録

日時：2019年9月7日（土）13：00～13：30

会場：アオッサ 8F 福井県民ホール（第1会場）

議題：

1. 2018年度事業報告

高橋理事から2018年度の事業が報告された。理事会を3回、書面理事会を10回、社員総会、会員総会、学術集会をそれぞれ開催した。また庶務報告として会員数及び法人化、会員マイページ、メール配信、入会申込書の変更について報告された。各種委員会報告は以下の通り。

(1) 編集委員会

第17巻1～3号をJ-STAGEにアップした。

2018年度からオンライン投稿を開始し、投稿数は25件であった。

(2) 研究活動推進委員会

第17回学術集会にて、第16回学術集会大会賞の表彰、ならびに第17回学術集会の大会賞、座長推薦演題、卒業研究交流セッション優秀賞の選出を行った。

2019年度研究助成を募集し、1件を採択した。

2018年度研究助成採択者から提出された収支報告書の確認を行った。

「若手の会」の活動支援とともに、全国キャラバン研修会の企画、運営を支援した。

(3) 技術研究成果検討委員会

第17回学術集会にて委員会企画を開催した。

第1回全国キャラバン研修会を開催した。

2019年1月26日 京都

診療報酬化に向けての活動を診療報酬化・看保連班を中心に行った。

各グループ（浣腸、移動動作評価、ポジショニング、気持ちよさをもたらす看護ケア、温罨法）がそれぞれの計画に基づき活動を行った。

(4) 広報委員会

学会ホームページの整理、および維持管理を行った。

ニューズレターを発刊した。

2. 2018年度会計報告

篠崎理事から2018年度会計報告がなされ、社員総会で異議なく承認されたことが報告された。続いて三上監事から小坂橋監事と連名の監査報告書が提示された。

3. 2019年度事業計画

高橋理事から2019年度事業の計画が報告された。学術集会の開催（第18回）、学会誌の発行（第18巻）、会員の実践活動・研究活動の推進、技術研究成果の社会還元、学会活動の広報の推進、評議員・理事選挙について報告された。各種委員会の事業計画は以下の通り。

(1) 編集委員会

投稿査読システムの見直し。

投稿規定の見直し。

(2) 研究活動推進委員会

第 17 回学術集会大会賞、卒業研究交流セッション優秀賞の表彰。

第 18 回学術集会の最優秀賞、優秀演題の選考。

第 18 回学術集会の卒業研究交流セッション優秀賞の選考。

2019 年度研究助成にかかる執行状況の確認。

2020 年度研究助成の募集と選考。

若手の会の支援、その他研究・研修会の支援。

(3) 技術研究成果検討委員会

A 研究成果の蓄積と公表

- ・各グループ（浣腸、移動動作評価、ポジション管理、気持ちよさをもたらす看護ケア、温罨法）が研究成果を蓄積し、学術集会にて発表する。

B 成果の普及の促進

- ・各グループの研究活動で得られたエビデンスを集約し冊子 Q&A の作成やブラッシュアップをする。
- ・看護技術キャラバン隊(研修会)として全国を回り、各グループの研究成果の紹介と実践を披露する。

C 診療報酬化の一層の推進

- ・看保連チームを中心に看保連との連携、他学会との協力を図りながら診療報酬化を目指し活動する。

(4) 広報委員会

学会ホームページの管理と更新。

会員へのメールによる情報配信。

ニュースレターの作成・発刊。

4. 2019 年度予算案

篠崎理事から 2019 年度予算案について説明され、社員総会で異議なく承認されたことが報告された。

5. 第 18 回学術集会の件

上野大会長より開催概要が述べられた。

6. 第 19 回学術集会の件

篠崎次期会長より開催予定と挨拶が述べられた。会期は 2020 年 10 月 31 日（土）、11 月 1 日（日）、会場はウイंक愛知（愛知県名古屋市）。テーマは看護技術の美学。

7. 第 20 回学術集会の件

第 20 回（2021 年度）学術集会会長として、水戸優子先生（神奈川県立保健福祉大学）が選出されたことが報告された。続いて、水戸先生から挨拶が述べられた。

以上